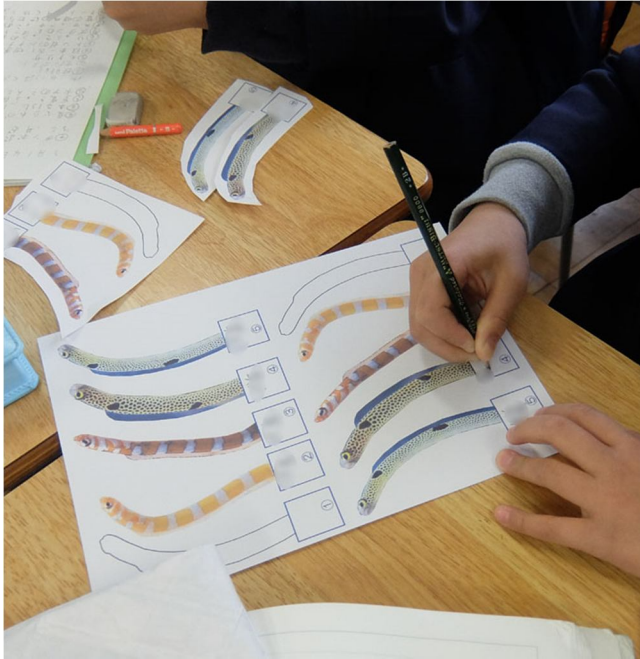


「チンアナゴの模型づくり(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

チンアナゴ、ニシキアナゴの型紙を配ると、多くの子どもは歓声をあげて喜んでくれた。前の晩に教材研究をした甲斐があった。



まず台座の部分に名前を書く。面倒でも10か所全部に書くのが基本。中には全部に「チンアナゴ」と書いてしまい、書き終わってから「あ」と気づいた子どももいた。なかなか笑える。



次に、型紙を丁寧に切り取る。はさみのほうではなく、型紙のほうを回すと良いと教えた。さすがにもうすぐ4年生なので、ずいぶん器用で丁寧になった。



次にのりで両面貼りにする。こういう画用紙同士を貼り合わせる場合は、アラビアのりよりも、スティックのりのほうが良い。理科室には貸出し用にいつも用意してある。片面だけではなく、両方にのりを塗って、少し乾き始めた頃に貼り合わせて、圧着すると良い。こうした「ものづくり」のコツは、図工以外の教科でも少しずつ見につけてゆくのが良いと思っている。



これで一応完成。丁寧に切り抜いてあれば、表裏がピッタリと合う。はみ出していたら、少しはさみで切って、形を整えると良い。台座の部分はTの字型に開くと、机上に安定して立つ。しかし、説明をよく聞かずに、台座の部分も貼り合わせてしまった子どももいた。裏側にゴム磁石をつければ、黒板にも貼れるだろう。このあとも、いろいろな工夫が見られた。(つづく)